



教育目標

- げんきな子
- よくかんがえる子
- なかよくする子

港区立南山幼稚園

Minato City, Nanzan Kindergarten

3月園だより

令和5年2月24日

February 24, 2023

園長 河合 晴美

Principal

Harumi Kawai



日々に感謝して

園長 河合 晴美

毎日、保育室前のチューリップの成長を気に掛ける3歳児りんご組、ジャガイモの種イモを植えた後、水やりをする4歳児ばら組、ヤモリを見付けたり、カマキリの卵の変化を楽しみにしたりする5歳児さくら組の姿があり、子どもたちの姿から知る南山幼稚園での春の始まりです。今年は、氷や雪も経験したため、季節の変化をより楽しむことができました。

保育室から聞こえるさくら組の歌には、「さよなら」という歌詞が入り、今までの生活を思い返しなが、残り少なくなった日々に対する寂しさを強く感じています。職員室では、毎日子どもたちの姿を伝え合いながら、成長した姿を確信するとともに、頼もしさを感じているところです。

さくら組の姿はいつでもりんご組、ばら組にとって大きなモデルであり、憧れの存在です。りんご組やばら組は、さくら組が力いっぱい走っている姿に見とれ、呼びかける声に耳を傾けています。そのような様子を活かし、2月の誕生会ではさくら組が「自分の得意技」を見せる機会をつくりました。縄跳び、コマ回し、フラフープの他、側転やダンス等、自分ができること、見せてあげたいことを選び披露しました。りんご組やばら組は声を上げながら、喜んで見入っていました。そして、その後同じようにやってみようと試す姿も見られました。新たなことを吸収していこうとするばら組、りんご組のエネルギッシュな行動に、確かな成長と嬉しさを感じます。

幼稚園では何気ない日常の出来事の中で、見たり聞いたりしながら学ぶことが多く、互いの姿がそれぞれの幼児にとって大切な存在であり、自身の成長に関与しています。共に過ごした日々は、私たちにとっても、教育に携わるものの成長を支える感謝の日々となっています。

3月16日に修了する28人のさくら組さん、おめでとうございます。子どもたちそれぞれにある可能性、希望の芽は、この先大きく花開くでしょう…。自信をもった子どもたちが堂々と胸を張り、新しい一歩を踏み出すことを願います。

保護者の皆さま、地域の皆さま、一年間御支援、御協力をいただきまして誠にありがとうございました。



<3歳児 学級で楽しむゲーム>



<4歳児 ジャガイモの種芋植え>



<5歳児 警察による交通安全指導>